

瀬戸内タウンミーティング（国府地区）

平成 21 年 11 月 12 日（木）19 時～21 時 10 分

ゆめトピア長船 2 階 リフレッシュスタジオ

参加者：男性 25 人、女性 4 人、計 29 人

市民から出た意見と市長の反応

- ・ 病気になっても「市民病院に行けば何とかしてくれる」という安心感を持てるような病院の充実をお願いしたい。
- ・ 市長は病院を必要と思っているのか。
- ・ 市にひとつは病院が必要と思う。「この診療科なら市民病院に行くのが一番いい」という目玉を設けて存続してほしい。

（市長）10 年後に現在の建物で市民病院を残すのは耐震化の問題などから無理。市民病院という形を存続させるなら建て替えしかない。また、新しい病院だと医師も呼びやすいが、30 年後にはまた同じこと（建物の老朽化による建て替えの話）になる。どんな医療サービスが必要なのかにあわせて病院というハコを考えたい。

市民病院を残してほしい人、いたら挙手してもらえますか？→3 人。

逆に、いらない、という人は？→3 人

個人的には、70 歳を超えて車に乗れない人にとって、入院と救急医療ができる施設は必要だと思っている。ただ、誰が設置するのか、誰が運営するのかについては可能性がいろいろあると思う。アンケートを実施して市民の意向を伺い、必要とされる医療サービスにあわせた病院のあり方にしていく。

消化器系はしっかりやっているといると思う。開腹手術などもやっており、救急車の受入れも増えてきているが、このタウンミーティングを通じて「市民病院はよくない」という話を伺うこともある。市民の評判を変えていくにはまだまだ努力が必要と思っている。

- ・ 大きい病院と開業医との連携をとることができれば市民病院は不要と思う。

（市長）手術は大病院で、入院は地元の病院で、という連携の方法もあると思う。当然医療機関同士の連携は必要と思う。

- ・ 市長、副市長とも若いので行動力に期待をしている。ただ、ブレーンが少ないという印象がある。不安は無いのか。

（市長）自分に足りないのは経験や知恵だと思う。幹部をはじめとする市役所

の職員や地域のみなさんの知恵を借りたい。「こいつには何を言っても聞かないから意見を言うのをやめよう」と思われては足りない部分を補ってもらえなくなるので、意見を言ってもらえるように心がけている。

- ・就任前に磯上来ていただいた際に「職員研修を自らやる」と言われていた。効果は上がってきているか。
- ・横のつながりを大切にする市役所に。また電話対応の際にまず名乗るように教育し、いきいきと働ける職場にしてほしい。

(市長) 現在までに実施した研修はこの総合計画を策定するための若手職員に対する研修だけ。まだ効果については言えない状態。

自分が講師になる研修、副市長が講師になる研修もやるが、将来的には職員一人一人が講師となり、互いに教えあい、学びあう環境にできればと思っている。瀬戸内市程度の大きさの市では、自前で研修メニューを立てて行っているところは少ないが、来年度に向けてどんな研修が必要か計画を立ててやっていきたいと考えている。

接遇・コミュニケーションは一度の研修では身につかない。継続してやっていかなくてはならない。研修メニューに組み込んでいく。電話については相手の顔が見えないので何を思って電話をしてきているのかを理解することが重要。難しいが、ちゃんとできるように研修をしたい。

- ・ごみの広域処理組合から脱退することで、最終処分場を市内に用意しなくてはならない。地域同士で押し付け合いになってなかなか決まらない可能性がある。見通しはあるのか。

(市長) 今のところ、最終処分場の候補地は無い。現在、市では焼却灰はよそへ持って行って処分してもらっている。他の自治体では焼却灰をセメント化したり、溶かして路盤材にしたりするなどリサイクルの取り組みがなされているが、どれだけ減量しても、最終処分場は必要である。きちんとした閉鎖型の処分場を作ることの説明し、地域には受け入れてもらえるよう努力する。

- ・美作の災害ごみの処理が自前でできないことから、岡山市が受入れを表明するなど、緊急事態では他の自治体との協力が必要と思う。ごみ処理の組合から脱退することによって、他の自治体との協力体制が難しくなっては困る。

(市長) 仲良くやっていけるよう努力する。赤磐市や和気町だけでなく、岡山市とも話をして協力体制の維持を続けていく。

・ **企業誘致について考えはあるか。**

(市長) 豆田の農工団地が残っており、売り切らないことには他の土地に誘致することは難しい。

次に南北道沿線。南北道は批判がいろいろあるが、今止めた場合、進めていくよりも多額の費用がかかることがわかり、進めていくことにした。活用として企業誘致なども考えている。企業の意思決定のスピードに対応できるようにしていきたい。

また、働き場の確保という観点で考えると、企業誘致だけでなく、地域の事業者を育てることや、NPOなどの新たな働き場をつくることもやりたいと思っている。日本ではボランティアやNPO＝ただ働きという認識が強いが、世界にはボランティア団体やNPO法人で働いて生計を立てている人もいる。

・ **行財政改革の一環で公共施設の指定管理者制度への移行を検討されていると思うが、ぜひやってほしい。見通しは。**

(市長) 合併した自治体の問題は、同じような公共施設が複数あること。真に必要なものを検討して、それから指定管理者制度への移行を進めていきたい。現在の予定は、スポーツ公園と美しい森を指定管理者制度での管理にしていきたいと考えている。

また、市民病院のあり方も同じように考えられる。公設公営がいいのか、公設民営がいいのか、いろいろ考えられると思う。市のよさ、地域のよさ、民間のよさ、地域の力や民間活力の状況などを見ながらやっていきたい。

・ **南北道の活用として、沿線に火葬場や市営墓地を作るよう準備をしてはどうか。**

(市長) 南北道の沿線については、既に不動産業者が土地の取得に動いているという情報が入っている。

これまで邑久、長船の人は牛窓の火葬場が使えず、市外で火葬をしてもらっていた。このままでいいのかという意見もある。岡山市も施設を統合しようという動きがあると聞いている。そのときに割を食うのは市外の利用者。費用との兼ね合いについて考えていきたい。

市営墓地については宗教法人などが設置している墓地が余っている現状もあるので、本当に市が整備しなくてはいけないのか、慎重に考えたい。

・ **民間保育園の建設を考えてはどうか。土地取得が難しい事業者に対しては公有地の提供などがあれば立地しやすいと思う。**

(市長) 入園希望が多く、保育室がいっぱいでホールを使って保育を行うなど、

長船地域は保育園の状態がよくない。「安心子ども基金」というものがあるので、この基金が使える間に整備を進めたいと思っている。

一部では小学校や幼稚園の建物の活用という意見もあるが、幼稚園は文部科学省、保育園は厚生労働省と管轄が分かれている。建物の活用について、国がきちんと制度を示してくれれば、と考えている。

・ **学校の統廃合について。**

(市長) 就任前に計画が作られていた。この計画を進めると、いくつかの小学校が休校になる。「地域が寂れる」という意見が多く、反対されていたと伺っている。今後、統廃合そのものだけでなく、地域のあり方を含めて話し合いを続けていきたい。

・ **塩田跡地の状況について聞きたい。**

(市長) 現在「ポンプが止まったらどのくらい浸水被害が出るのか」「昔の堤防を活かす場合の費用と効果」について試算を行っている。このうち、昔の堤防を活かす場合、産業廃棄物処分場や市の埋立処分場を防御しないとイケないため、防御策も含めて試算を行っている。

管財人や債権者である銀行との情報交換も同時に行っているが、特に進展は無い。債権者集会の結果を踏まえて、国や県に協力をお願いしていくつもり。